

科名 外科 外31(a)

対象疾患名 切除不能・再発大腸癌

プロトコール名 FOLFIRI

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	...	14
1	CVポート	メイン2-①	生食	250mL	ルートキープ 残破棄可	↓			
2	CVポート	側管①	グラニセロンバッグ	1mg	30分かけて	↓			
			デキサート注	9.9mg					
			又は						
3	CVポート	側管①	パロノセロンバッグ	0.75mg	30分かけて				
			デキサート	9.9mg					
4	CVポート	メイン2-②	レボホリナート注	200mg/m ²	2時間かけて	↓			
			生理食塩液	250mL					
5	CVポート	側管②	カンプト注	150 or 180mg/m ²	2時間かけて	↓			
			生理食塩液	250mL					
6	CVポート	側管③	フルオロウラシル注	400mg/m ²	急速静注	↓			
			生理食塩液	50mL	3～5分				
7	CVポート	メイン	フルオロウラシル注	2400mg/m ²	46時間持続静注	→			
			生理食塩液	mL※	パクスターインフューザーSV2.5				

※生理食塩液の量は5-FUの量により決定する。

1クール＝14日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

【注1】3 のカンプト注用量180mg/m²は本邦では保険適用量(150mg/m²/2W)を超えている！

ので本プロトコール使用にあたっては、十分なイリノテカン使用経験のある医師の指導のもと
でなければ使用すべきではない。

【注2】原則として PS＝0 の患者のみを対象とする。

【注3】日本人におけるカンプトの安全性がまだ完全に立証されていないので、その点に関しても患

者への説明を十分に行わなければならない。また文書による患者及び家族の同意を取得しなければなら